



ひまわり通信

日本共産党
市川市議員 **ひろた徳子**



日本共産党控室
市川市八幡1-1-1
334-1111 (18219)

2020. 9. 6 NO.62



9月議会から使用する6階の新議場（7階北側より撮影）

9月議会は一般質問が再開されます

2月、6月議会は一般質問ができませんでしたでしたが再開されます。

今回の代表質問は各党派ともコロナ関連の質問通告が多く出されています。私は、地域の課題やアンケートに寄せ

られた内容、昨年のような台風災害などから、次のような質問を予定しています。

○環境行政について
（1）ごみの分別は進んでいるのか
（2）カラスの現状と対策について

○エコポイント制度について
（1）自治会活動参加によるポイント付与の手続きについて

（2）満点カードの特典の拡大について
○給付金の支給対象の拡大について
・今年度の新生児を対象に含める考えについて

○保育行政について
（1）病後児保育の現状と今後について
（2）一時預かり保育の現状と今後について

（3）職員の配置について
○災害時の避難について・避難行動要支援者への対応について

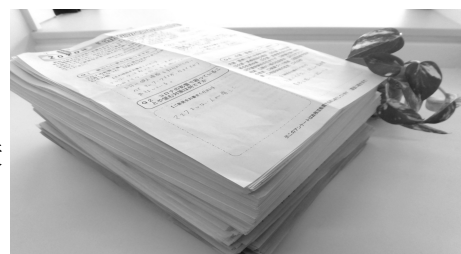
○新庁舎の傍聴席は、93席（内3席は車いす専用）9月議会は3密を避けるために3分の1程度の傍聴となります。

新庁舎の傍聴席は、93席（内3席は車いす専用）9月議会は3密を避けるために3分の1程度の傍聴となります。

市政アンケートへの ご協力ありがとうございました

コロナ禍のもと、在宅ワーク、医療問題、教育問題など多くの方々からご意見・ご要望を頂きました。例年通り行徳地域を4つに分けて要望をまとめます。10月初旬には、市に提出したいと考え、準備を進めています。

また、市議団は、開業医や公立小中学校にもそれぞれの項目でアンケートを実施し、厳しい状況が寄せられています。



生ごみ専用BOX、検証中



市川南庁舎で、「生ごみ専用スマートI・BOX」の試行が行われています。QRコードをかざすと投入口が開きます。臭いの影響はあるのか、使いやすさはどうなのか。検証後は、市内に設置し、改良を重ねながら台数を増やしていく予定です。

誰もが大事にされる社会をご一緒に実現させましょう

衆議院千葉5区予定候補 浅野ふみ子



ひまわり通信をご覧の皆さん、残暑お見舞い申し上げます。

新型コロナウイルスの感染が拡大するなか、いかがお過ごしでしょうか。この間、市川・浦安市ではクラスターが発生し、感染者が増えています。市川保健所長は、「人が足りない」「健康福祉の充実を」と懇談で述べられました。医療機関や高齢者施設、保育園や学校などの現場の皆さんのご苦労は大変なものだと思います。

感染拡大をストップさせるためには、これまでのクラスター対策から、クラスターにさせないための

無症状感染者の保護・治療へと国の方針転換が求められます。世界各地で取り組まれているPCR検査を大幅に増やしていくことが欠かせません。アメリカ・ニューヨーク州では、「いつでも、誰でも、何度でも、無料で」検査を受けられる制度によって、感染者の早期発見と感染状況の実態把握が進んでいます。「命を守るために」果たすべき政治の責任は明確です。営業や暮らしを支える制度へと充実させましょう。

8月4日、市議団と浅野候補は、船橋市にある葛南土木事務所を訪ねました。聞き取りをしました。今年度行われる市川市内の県道や架橋の整備予定を伺い、それぞれの地域の要望を伝えました。地域の要望を伝えました。行徳の古い歩道橋を撤去してほしいという地域の方からの要望を伝えました。この歩道橋は地域の自治会からの要望で作られたものです。自治会からは補修してほしいとの対応です。確認して対応しますとの事でした。他にも歩道の凸凹などの要望を伝えました。



葛南土木事務所を訪ね

市川市のプラスチック製容器包装中間処理施設を視察



8月18日、清水議員と市内の施設を視察し、説明を聞きました。9月議会で、コロナ禍でごみは増えているが、きちんと分別されているのか質問します。実際に見せていただくと、あきらかにプラスチックごみではないものも多く入っていて、取り出す作業をしている方々の大変な状況を確認しました。市民の自覚が求められます。

ひとりごと：不要な布マスクがあればと声をかけたところ、たくさんの方のマスクをいただきました。いちかわ訪問介護ステーションやいちかわ市民診療所に届けたところ、たいへん喜ばれ、利用者のご家族にも感謝されているという事です。ご協力くださった皆さんに感謝いたします。コロナ禍で、みなさんが安心して生活できるようにお手伝いしたいと思えます。この間、店舗や市内公立の小中学校を回り、お話を伺いました。新しい生活様式が少しずつ身に着いてきているのとこの事です。しかしストレスを抱えている方も少なくありません。一緒に乗り越えましょう。

昨年台風15号から1年になります。災害対策をしっかりと行いましょう。